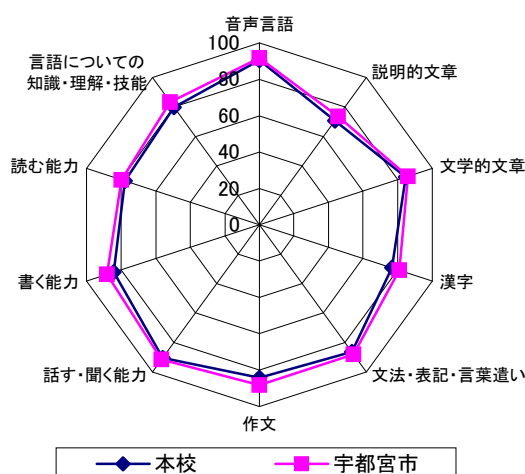


宇都宮市立鬼怒中学校第1学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	90.5	91.7
	説明的文章	70.8	73.5
	文学的文章	84.7	85.9
	漢字	76.6	81.0
	文法・表記・言葉遣い	86.5	88.2
	作文	84.1	88.2
観点別	話す・聞く能力	90.5	91.7
	書く能力	84.1	88.2
	読む能力	77.8	79.7
	言語についての知識・理解・技能	79.9	83.4



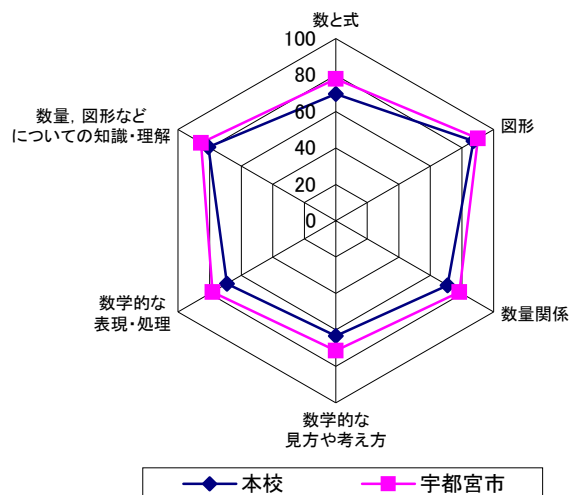
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (90.5%)	昨年度より4.2ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。しかし、市の平均をやや下回っており、さらなる努力が必要である。	昨年に引き続き、授業中の「聞く・話す」という活動の機会を増やし、聞き取りテストなどの工夫もしていく。
説明的文章 (70.8%)	昨年度より1.1ポイント下降し、また、市の平均も2.7ポイント下回ってしまった。要旨をとらえ、まとめるなどの基本的な能力が不足しているように思われる。	筆者の主張をとらえたり、要点を見つけたりする練習を意図的に授業に取り入れ、指導していく。
文学的文章 (84.7%)	昨年とほぼ変わらず、全体と比べても大きな差はなかった。生徒たちの様子を見ると、読書量は比較的多い方なので、その成果が表れ始めているようだ。今後も継続して指導していく。	登場人物の心情や、場面の移り変わりなどを読み取れるように丁寧に指導していく。
漢字 (76.6%)	昨年度より0.4ポイント上昇しているものの、市の平均を4.4ポイント下回っており、さらなる努力が必要である。特に、中学1年で学習する漢字の書き取りにおいて市の平均18.8ポイント下回っており、大きな課題となっている。	授業に小テストを取り入れ、定着を図るとともに、新出漢字を中心に、宿題や家庭学習で漢字練習をする習慣をつけさせていきたい。
文法・表記・言葉遣い (86.5%)	昨年度より6.5ポイント上昇しているものの、市の平均を1.7ポイント下回っており、さらなる努力が必要である。	昨年同様、文法や語句に関する知識の積み重ねを着実にする指導を増やし、練習問題を数多く取り入れた指導を工夫していく。
作文 (84.1%)	昨年度より5.1ポイント下がった。市と比較しても大幅に下回っており、今後指導に力を入れるべき項目であるといえる。	文章を書く機会を授業の中で意図的に設定し、自分で考えて文章を書く練習が必要である。学級での日記指導とも関連づけながら継続して指導していく。

宇都宮市立鬼怒中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	69.5	77.9
	図形	87.4	90.2
	数量関係	70.9	78.5
観点別	数学的な見方や考え方	63.2	71.3
	数学的な表現・処理	69.1	78.3
	数量、図形などについての知識・理解	80.8	85.3



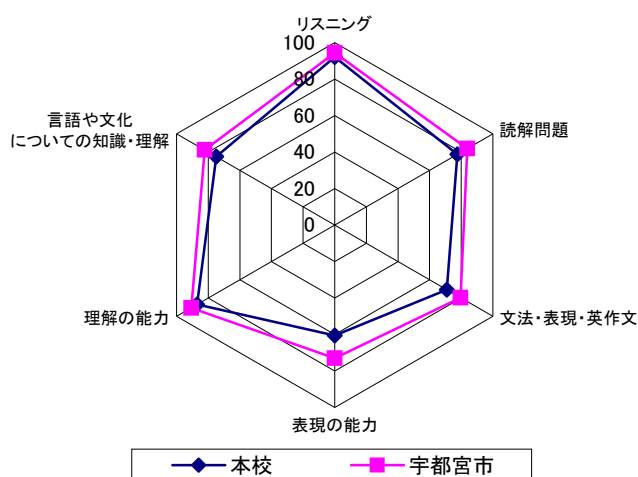
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (69.5%)	<p>昨年度と比べ4.9ポイント下降しており、市と比較しても4.3ポイントの差が広がっている。 文字式や式の計算において四則計算の仕方を理解していない生徒が多い。また、分数計算の苦手な生徒が多い。</p>	<p>基本的な計算の反復練習を定期的 to 実施したり、単元ごとに補習を実施したりすることで、計算力の定着を図っていく。</p>
図形 (87.4%)	<p>昨年度より5ポイント上昇し、市と比較すると昨年度より0.5ポイントの差が縮まっているが、まだ2.8ポイント低い。 線対称と点対称の理解が不十分な生徒がいる。</p>	<p>図形の領域では、想像だけでは理解不足になってしまうため、板書の工夫だけでなく、実際の模型などを使った体験を通して、理解を深めながら指導する。</p>
数量関係 (70.9%)	<p>昨年度より7.3ポイント上昇し、市の平均との差が1.2ポイント縮まっているものの、まだ7.6ポイント下回っている。 表、式、グラフの理解が定着されておらず、更に表、式、グラフの関係が整理できていない。</p>	<p>数量の変化について、表や式、グラフで表すことの良さや特徴に気づかせるとともに、その意味を理解させ、身近なものを例に挙げて指導していく。</p>

宇都宮市立鬼怒中学校第1学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	92.1	94.4
	読解問題	77.5	83.9
	文法・表現・英作文	70.9	79.7
観点別	表現の能力	60.6	73.0
	理解の能力	86.9	90.7
	言語や文化についての知識・理解	74.8	82.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (92.1%)	昨年度より2.3ポイント上昇しているものの、市の平均を2.3ポイント下回っており、対話の内容把握において満足した状況とはいえない。	「英語を聞く」ことを重点とした内容を多く取り入れ、正しい発音で英語を聞くためにALTやCDを効果的に活用していく授業を強化していく。特に、1年生については、簡単な日常の会話を多く取り入れ、英語を聞き、話す指導を強化していく。
読解問題 (77.5%)	昨年度より1.1ポイント上昇しているものの、平均正答率が80%を下回っている。特に、「対話文の空所選択」において不十分さが目立つ。	内容を読み取る力をつけるため、その都度把握した内容の確認をしたり、そのポイントを提示するようにしていく。また、例文を用いながら、基本的な文型の指導を強化していく。
文法・表現・英作文 (70.9%)	昨年度とほぼ同じであるが、平均正答率において市の平均を8.8ポイント下回っており、特に和文英訳について不十分な状況が出ている。	英語で表現する活動を継続し、英文を書く機会を増やしたり、単語力をつけるように、授業の中での小テストや、単語練習を繰り返し、さらに家庭学習としても取り組めるような宿題として出していく。